



「EPISTULA」：
古典ラテン語で“手紙”という意味です。
広報室からみなさまへ、
芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。



大分県立芸術文化短期大学広報誌
エピストゥラ

Epistula

特集

芸短フェスタ2021イベント報告
創立60周年記念式典



#065
2021.Winter

Epistula

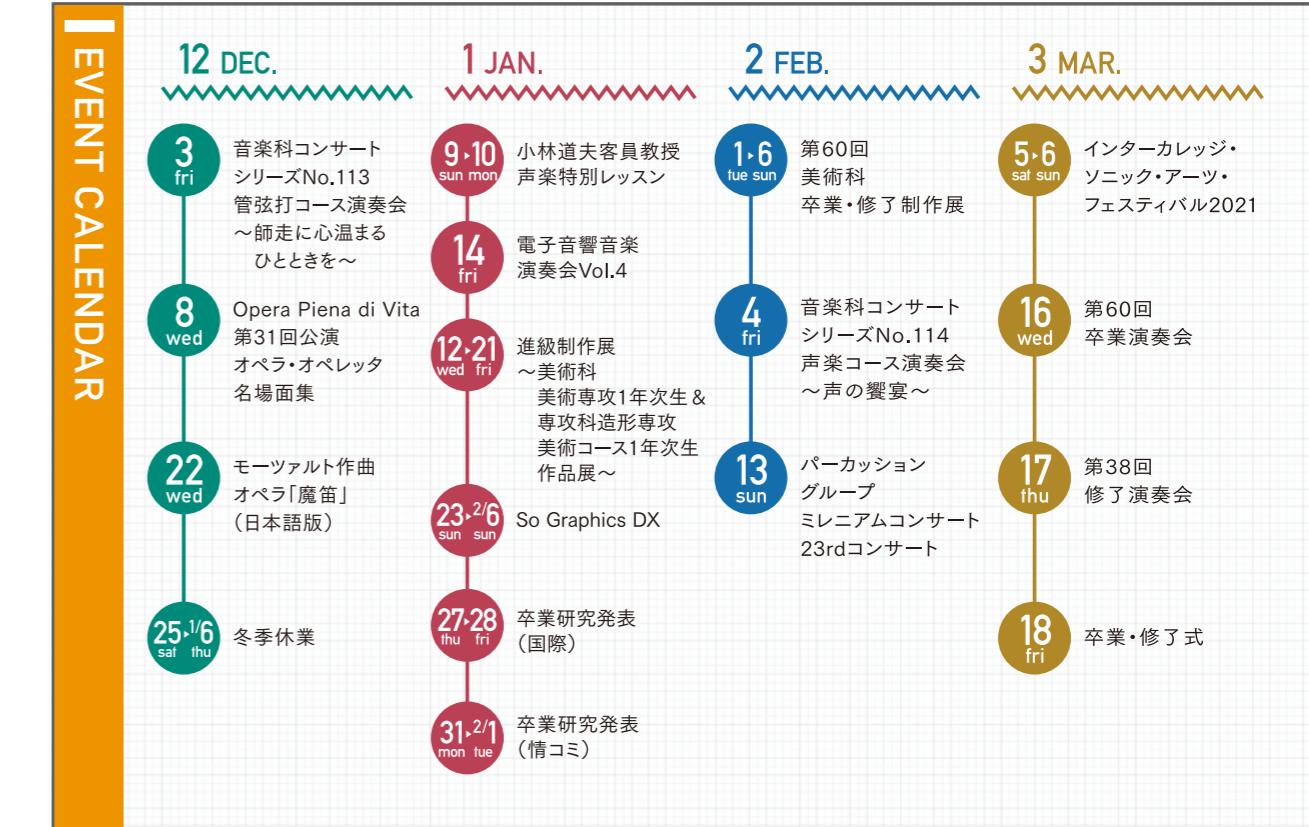
Oita Prefectural College of Arts And Culture
Public Relations Magazine

#065
2021.Winter

大分県立芸術文化短期大学広報誌[EPISTULA] 2021年12月10日発行 通巻65号
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL 097-545-0542(代表) FAX 097-545-0543



INFORMATION | 2021 12 DEC.- 2022 3 MAR.



※各イベントは変更になる場合があります。



※詳しくは『令和4年度 学生募集要項』または大学ホームページ内『入試案内』をご覧ください。



創立60周年
60th Anniversary

記念式典を開催しました

10月28日(木)、広瀬勝貞大分県知事をはじめご来賓の皆さま、本学の名誉教授や地域住民など約60名の方にご出席いただき、創立60周年及びキャンパス整備完成記念式典を開催しました。

小手川学長は「60年の伝統とブランド力を礎に、地域の皆さんに愛され、地方創生を担う人材を輩出する大学づくりを目指す」との決意を新たにしました。

また、記念コンサートとして、本学音楽科音楽総合コースの教員・学生が編曲した、瀧廉太郎作曲「四季」などの7曲を音楽科教員と学生が演奏し、会場に優雅な音楽を響かせました。

9月に新任の教員が着任しました

国際総合学科
【フランス語】
まえやま ゆう
前山 悠講師

Q1. 経歴・専門分野・担当科目を教えてください

新潟の農村に生まれ、大学卒業後関東で塾講師を務めた後、大学院に戻りフランス文学を学びました。留学先のパリ第7大学で博士号を取得し、学習院大学助教を経て本学に着任。フランス語科目を中心に担当しています。

Q2. 芸文短大で挑戦してみたいことは?

ロードバイクに乗るのが好きなので、涼しい季節に大分の各地を駆け巡ってみたいですね。温泉巡りも兼ねつつ。

Q3. 学生にメッセージをお願いします!

語学・文学を含む人文学は、お金を稼ぐ手段には大してならないかもしれません、思考を豊かにする営みとしては優れたものです。またそうして鍛えられた思考は、人生の要所できっと皆さんを力強く支えてくれるでしょう。

芸短フェスタ2021 今後のイベント
2021.12 ▶▶ 2022.3

詳細は本学HPをご覧ください!

芸短 フェスタ2021 イベント報告

今年16回目を迎える「芸短フェスタ」も、折り返しにさしかかっています。新型コロナウイルス感染症対策に細心の留意を図りつつ、多種多様な催しを開催し、多くの方にご来場・ご参加いただいております。これまでのイベントの様子を振り返ります。(10月末現在まで)

9月18日
「一文人形」絵付けワークショップ

9月22日
若さあふれるコンサート

10月6日
彫刻をさわる時間をつくる

西大分にある柞原八幡宮の仲秋祭「浜の市」で親しまれている「一文人形」の絵付け体験ワークショップを開催。10組29名がオリジナリティ溢れる人形を創作し、様々な視点で郷土玩具に興味をもっていただく機会となりました。

10月10日
定期演奏会

10月16日
A.ベヴェラリ氏公開マスタークラス

10月23日
芸短祭

本学音楽科・専攻科音楽専攻の前期実技試験成績優秀者を、声楽・ピアノ・管弦打の各コースから選抜し、独唱・独奏曲による演奏を披露するコンサート。16名の学生が出演し、これまでの練習の成果を大きな舞台で披露しました。

音楽科・専攻科音楽専攻全学生と全教員、卒業生らが総力を挙げて取り組む音楽科最大のイベント。今年はオーディションで選出されたピアノコースの学生らがソリストを務め、その優雅で迫力ある演奏に約700名の観客から盛大な拍手が送られました。

数々の国際的なコンクールで上位入賞を果たしているA.ベヴェラリ氏による公開マスタークラスを開催。本学音楽ホールにてクラリネットを演奏する10名の学生等へ丁寧かつ熱心にご指導いただきました。

2年ぶりの対面による開催。各サークルによる発表やスペシャルゲストによるお笑いライブなど、大いに盛り上がりました。また日没後、創立60周年を記念し、竹田市で行われている「竹楽」を本学で実施。竹灯籠による温かな光がキャンパスを彩りました。

- 芸短音楽科コンサートシリーズNo.113
「管弦打コンサート演奏会～師走に心温まるひとときを～」
12月3日(金)
iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール
- オペラサークル Opera Piene di Vita
第31回公演 オペラ・オペレッタ名場面集
12月8日(水)
本学音楽ホール棟 音楽ホール
- モーツアルト作曲オペラ
魔笛(日本語版)
12月22日(水)
iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール
- 小林道夫客員教授
特別レッスン
1月9日(日)、10日(月・祝)
本学音楽ホール棟 音楽ホール
- 進級制作展～美術専攻1年次生&専攻科造形専攻美術コース1年次生 作品展
1月12日(水)～21日(金)
本学芸短ギャラリー
- 電子音響音楽演奏会
1月14日(金)
本学音楽ホール棟 音楽ホール
- So Graphics DX
1月23日(日)～2月6日(日)
大分市美術館 研修室
- 第60回大分県立芸術文化短期大学
卒業修了制作展
2月1日(火)～6日(日)
大分県立美術館(OPAM)
- 芸短音楽科コンサートシリーズNo.114
「声楽コース演奏会～声の饗宴～」
2月4日(金)
iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール
- パーカッショングループ
ミレニアム23rdコンサート
2月13日(日)
J:COMホールホール大分 大ホール
- インターカレッジ・ソニックアーツ・フェスティバル2021
3月5日(土)、6日(日)
本学音楽ホール棟 音楽ホール、芸短ギャラリー
- 第60回卒業演奏会・
第38回修了演奏会
3月16日(水)、17日(木)
iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール



9月13日(月)、日田市中津江村柄野の中津江ホールで、地域巡回演奏会を開催しました。

本学音楽科、専攻科音楽専攻の学生21名が地元中学生、地域住民の皆さん67名を前に、オペラハイライト、ピアノソロ、木管アンサンブル、金管アンサンブルを披露しました。

来場者は学生の響きある歌声や音色に聞き入り、「なかなか聞く機会の少ない演奏会を開いていただけてとても嬉しいです。楽しめていただきました」との感想が寄せられました。

参加した学生は「杉の香りがよく、とても落ち着いた雰囲気のホールで地元の方々を前に楽しく演奏できました」と話しました。

地域巡回演奏会は、県民の方々や小・中学生にクラシック音楽の素晴らしさを伝え、大学と県民の交流を深めることを目的に、地域文化の向上に役立つことを目的として昭和61年から県内各地で行われています。

01 竹田市「株式会社吉野」のロゴマークを専攻科造形専攻の学生がデザインしました

竹田市の総合食肉卸・販売業「株式会社吉野」の企業ロゴマークを専攻科造形専攻ビジュアルデザインコース1年生が制作しました。学生たちは春休みから幸島講師の指導を受け、会社のニーズを汲み取り、同社がメインに取り扱う「和牛」をテーマにしたロゴマークデザインに取り組みました。

6名から10点のデザイン案が、コンセプトの説明やロゴの展開例を示したシートを作成して提案され、その中から酒井美玲さん(前列中央)の作品が採用されました。

ロゴマークは同社ホームページに使用されています。

02 学生企画「#芸短壁画展」を開催しました

10月23日の芸短祭に合わせて、本学創立60周年を記念した芸短チャレンジ企画「#芸短壁画展」を開催しました。

新しくなった大学キャンパス内に「わいわいと楽しい雰囲気の壁画を描きたい」と美術科美術専攻の学生が企画したもので、9月から10月の1カ月で美術科学生有志4名が、学内クラブハウスの壁に「百鬼夜行」をテーマとしアマビエや天狗など様々なモチーフを集め、縦3メートル、横8・3メートルの大きな作品を描きました。この壁画は学生や大学関係者のほか、創立60周年式典で行われた内覧会でも、出席者から大きな関心が寄せられました。



03 第1回日本語検定団体表彰で本学が文部科学大臣賞を受賞しました

2021年度 第1回「日本語検定」で、国際総合学科の学生21名が3級に合格し、本学が大学・短期大学・高等専門学校部門において団体表彰最上位の文部科学大臣賞を受賞しました。

文部科学大臣賞は本学初の快挙です。10月29日(金)に代表学生3名と長福香菜准教授、高瀬圭子教授が小手川学長、日本語検定の試験概要や受賞までの経緯を報告しました。

同科では毎年、日本語検定3級(高校卒業・社会人基礎レベル)取得を目指す「検定日本語演習」(担当:長福香菜准教授)の授業を前期に開講しています。



05 芸文短大×サンリオコラボグッズの販売が始まりました

本学創立60周年記念事業として、美術科・国際総合学科・情報コミュニケーション学科が協働して取り組んだサンリオとコラボレーションしたグッズが初めて商品化され、販売が始めました。

この取り組みは商品の企画から販売促進までを学生20名が主体となって行い、3学科の教員のサポート(デザイン・マーケティング・知的財産などを)を得て実現したものです。

販売する商品はクリアファイル、シール、ハンドタオルの3種類で、学内のコンビニと文具店のほか、コトブキヤ文具店 ONLINE SHOP (<https://kotobukiya-gazai.com/shop/>)で取り扱いが始まっています。

グッズは数量限定で、無くなり次第販売終了となります。

ぜひお買い求めください!

この模様は本学ホームページにて動画配信する予定です。

06 学生企画「moonlight and tea」を開催しました

10月19日(火)、大分市のお部屋ラボ祝祭の広場で、本学創立60周年を記念した芸短チャレンジ企画「moonlight and tea」を開催しました。

この企画は「クラシック音楽を身近に感じて欲しい」という思いで、専攻科造形専攻の学生が提案したもので、月にまつわるクラシック音楽の生演奏を聴きながら紅茶を楽しむ催しを、音楽科のサポートを得て実現しました。

当団は国際総合学科学生が司会をつとめ、美術科学生が曲をイメージして制作した3つの部屋

がステージに現れ、音楽科卒業生や演奏員によるベートーヴェン作曲「月光」やドヴォルザーク作曲「月に寄せる歌」など、月にまつわる曲が演奏されました。

天候にも恵まれ、来場者は満月を鑑賞しながら、臼杵市より提供いただいた和紅茶を手に、幻想的な演奏を楽しんでいました。

この模様は本学ホームページにて動画配信する予定です。



07 本学のオリジナルラジオ番組の放送が始まりました

10月2日(土)からFM大分で、本学のオーリジナルラジオ番組「芸文短大(げいたん)ラジオ 大人エスプレッソTIME」の放送が始まりました。創立60周年を迎えた本学の初めての試みで、2021年12月25日(土)までの全13回、毎週土曜日の12時半から放送しています。

毎回芸文短大的教員をゲストに迎え、普段聞くことのない専門分野の研究や創作活動など旬で奥深いお話をお届けするラジオ番組です。

メインパーソナリティーはフリーアナウンサーで、本学卒業生でもある佐藤美希さんです。

皆さま、ぜひ聴くください!

■芸文短大(げいたん)ラジオ 大人エスプレッソTIME
■2021年10月2日(土)~2021年12月25日(土)まで(全13回予定)
毎週土曜日12:30~12:55 エフエム大分(大分88.0MHz)で放送中
■メインパーソナリティー: 佐藤美希さん
(フリーアナウンサー・芸文短大情報コミュニケーション学科卒業生)



The image is a composite of various photographs and line drawings. At the top left, there's a stylized illustration of two paint bottles with yellow and pink caps. To the right of the title '芸短ギャラリー作品紹介' is a large blue pen. In the center, there's a yellow rectangular box containing text about an art management program and an exhibition. Below this are three photographs of an art gallery with various paintings on display. On the far left and right edges are artistic illustrations: one shows a face with a brush, and the other shows an easel with a painting of a plant.

★★★★★

学友会情報

こんにちは、学友会です！今年は10月23日に対面で芸短祭を開催予定しております。各サークルの発表や、有志の発表。芸人さんのライブに、お楽しみの抽選会など少しづつ準備をしています。私たち2年生にとっても最後の思い出作りになります。皆で協力しながら頑張っていきたいと思います。あとは1年生にバトンをタッチして次に繋げていきたいです！

(10月7日時点)

 @GakuyuGetan 

 @geitandayoooo 

日々是精進

■ 第34回九州・山口
（音楽科）
ジユニアピアノコンクール
【本選優秀賞】
溝邊莉沙（ピアノコース2年）
【優秀賞】
島津幸実（ピアノコース1年）

■ 第31回日本クラシック
音楽コンクール本選
【優秀賞】
島津幸実（ピアノコース1年）

■ 第19回ヴェルデ音楽コンクール
【予選銀賞・福岡本選金賞】
溝邊莉沙（ピアノコース2年）

■ 第75回全日本学生
音楽コンクール北九州大会
【第1位】
立石彩乃（声楽コース2年）
【第3位】
二見有紀（声楽コース2年）
【入選】
有野美咲（声楽コース1年）

■ 第75回全日本学生
音楽コンクール北九州大会
【部門賞管楽器】
坪井梨乃（ピアノコース2年）
【第2位】
西岡あゆな
（管弦打コース2年フルート）

■ 第59回北九州芸術祭
【部門賞管楽器】
第一回北九州芸術祭
一般の部
フリーデ部分
【第2位】

■ 第75回全日本学生
音楽コンクール北九州大会
【佳作】
谷口風沙（造形専攻1年生）
【入選】
村田シヨーン拓也（造形専攻2年生）
■ 第31回豊後大野市アマチュア
美術展
【第2位】
牧ひなた（音楽専攻声楽コース2年）
【入選】
岩間愛弥（音楽専攻声楽コース1年）
【入選】
西郷希（音楽専攻声楽コース1年）
■ 第19回ヴェルデ音楽コンクール
（美術科）
JAGDA国際学生
ポスターアワード2021
【銀賞】
宮井奏那海（短大2年生）
【入選】
兒島英里（短大2年生）
■ 第3年年度第1回日本語検定
【文部科学大臣賞（団体賞）】
検定日本語演習受講生

■ 第34回九州・山口
（音楽科）
ジユニアピアノコンクール
【本選優秀賞】
溝邊莉沙（ピアノコース2年）
【優秀賞】
島津幸実（ピアノコース1年）

■ 第31回日本クラシック
音楽コンクール本選
【優秀賞】
島津幸実（ピアノコース1年）

■ 第19回ヴェルデ音楽コンクール
【予選銀賞・福岡本選金賞】
溝邊莉沙（ピアノコース2年）

■ 第75回全日本学生
音楽コンクール北九州大会
【第1位】
立石彩乃（声楽コース2年）
【第3位】
二見有紀（声楽コース2年）
【入選】
有野美咲（声楽コース1年）

■ 第75回全日本学生
音楽コンクール北九州大会
【部門賞管楽器】
坪井梨乃（ピアノコース2年）
【第2位】
西岡あゆな
（管弦打コース2年フルート）

■ 第59回北九州芸術祭
【部門賞管楽器】
第一回北九州芸術祭
一般の部
フリーデ部分
【第2位】

■ 第75回全日本学生
音楽コンクール北九州大会
【佳作】
谷口風沙（造形専攻1年生）
【入選】
村田シヨーン拓也（造形専攻2年生）
■ 第31回豊後大野市アマチュア
美術展
【第2位】
牧ひなた（音楽専攻声楽コース2年）
【入選】
岩間愛弥（音楽専攻声楽コース1年）
【入選】
西郷希（音楽専攻声楽コース1年）
■ 第19回ヴェルデ音楽コンクール
（美術科）
JAGDA国際学生
ポスターアワード2021
【銀賞】
宮井奏那海（短大2年生）
【入選】
兒島英里（短大2年生）
■ 第3年年度第1回日本語検定
【文部科学大臣賞（団体賞）】
検定日本語演習受講生

Service learning report

サービスラーニング報告

サービスラーニングは、「大学で学んだことを地域で活かし、活動することで学びの意義を知る」を目的とした本学の特色ある共通プログラムです。単なるボランティアでは終わらない、主体性・協調性・論理性のある「社会人材」の育成を目指しています。下記イベントにサービスラーニングの一環として、学生らが参加しました。

竹田市で農業支援活動を行いました

10月9日(土)にサービスラーニングの一環として、より付加価値の高い商品を生み出す農業を実践している竹田市に、22名の学生が赴き、古代米の掛け干し体験や最新の技術を使ったトマト栽培に関する学習会を行いました。

自然農法や古代米の特徴などについて説明を受け、昔から伝わる古代米の掛け干しを、慣れない手つきながら体験しました。

また、先駆的なトマト栽培に取り組む農事組合法人を訪問し、実際にトマトを収穫し、法人関係者と様々な質疑を交わしました。

1日を通じて、竹田市における農業活動を体験しながら、持続可能な農村社会の在り方について考える良い機会となりました。

「七タブロードウェイ」に参加しました

8月7日(土)サービスラーニングの一環として大分青年会議所が実施する「七タブロードウェイ」の開催支援を行いました。

学生たちは朝9時から旧荷揚町小学校体育館で風船にヘリウムガスを入れる作業を開始し、大分市民から寄せられた願い事が書かれた6万枚の短冊が入れられた大型バルーンを含め合計15,000個の風船(風船、紙、紐など全て環境に配慮した自然素材を利用)が、校庭から一斉に夜空に放たされました。

今回は、無観客によるインターネット中継という形となりましたが、大分市民の夢と希望、疫病退散を願う特別なイベントとなりました。



生きる欣び
よろこび

学長コラム

President's column

学長
小手川 大助

(似顔絵:学長秘書 高橋梨紗)

人間にとって食の楽しみは重要です。健康に一番悪いのはストレスですが、ストレス解消の有力な手段が「美味しいものを食べること」であり、これは万国共通で海外からの客をもてなす際の重要な要素です。ただ、美味しい食の内容は各国異なっています。

例えば、中国人にとっての外国料理は、フランス料理やイタリア料理ではなく、自分の出身地でない土地の中国料理を指します。中国料理には8つの代表的な地方の料理があります。北京、山東、上海、揚州、湖南、四川、廣東、雲南です。

また中国人は原則として冷たいものは食べません。寿司や、生卵を使うすき焼きは苦手という人が多いのです。牛肉に砂糖をかけて食べるということも信じがたいのです。

一方、ロシアや北欧の人はスパイスに弱く、パブリカでも苦しむ人がいます。外国人に出して問題がないのは、天ぷらと洋食、それにしゃぶしゃぶです。フランス人に喜ばれるのは、なんとカツ丼です。

アジアの人には欧米人よりも神經を使います。宗教上の理由で牛や豚を食べない人、更には菜食主義者も多いからです。最近ではグルテンアレルギーを持つ人にも気を付ける必要があります。

詳細やほかの活動は、
情報コミュニケーション学科HP
 <http://oitapc-cis.jp/>

Facebookで
覗いただけます。
便利なQRコードを
利用ください！▶

